

行田市 市民活動

サポートセンター通信

～第70・71合併号～

発行 行田市市民活動サポートセンター

〒361-0052 埼玉県行田市本丸5-10

(コミュニティセンターみずしろ1階ギャラリー内)

T E L 048-598-8616

E メール gyodashi-saposen@bz04.plala.or.jp

開所日 毎週月・火・木～土 午前9時～午後5時

(コミュニティセンターみずしろの休館日及び日曜日を除く)

市民活動ウィークぎょうだ2024 登録団体パネル展・活動発表・講座開催の様子ご報告

11月8日(金)から14日(木)まで、コミュニティセンターみずしろを会場に、市民活動ウィークぎょうだ2024が開催されました。市民公益活動登録団体によるパネル展・活動発表やワークショップをはじめ、NPOと市職員を対象とした協働を考える「担い手塾」、オンラインデザインツールCanvaを利用したチラシ作り講座が開講されました。



◆市民活動パネル展・活動発表

パネル展では行田市市民公益活動登録団体が日頃の活動や研究について紹介し、市民へ団体について知っていただく良い機会となりました。掲示物は各団体が作成し、活動内容の説明に写真やイラストを盛り込むなど力作揃いでした。

活動発表では、行田マジック愛好会のステージがあり、軽快なBGMにのせて繰り広げられるマジックに、子供から高齢者まで魅了されていました。また、行田にほんご教室の「国際交流事業でお茶体験」では地域で暮らす外国人達が日本の茶道に触れ感激した様子でした。行田外国語観光ガイドボランティア会はひらがなクイズ・英語クイズを行い、外国人や子供たちが楽しんでいました。



◆NPO・市職員向け合同研修

8日（金）に開講されたのは「心が豊かになる地域づくり担い手塾」。NPO 法人地域環境緑創造交流協会吉田二郎さんの基調講演では、ご自身が深谷市職員時代に取り組んだ企画「ガーデンシティふかや」での市民と行政の関わりについて紹介がありました。

そして市民公益活動登録団体5団体による行政との協働事例の発表がありました。そのあとの、吉田二郎さん、たまサポ市民活動コーディネーター藤井美登利さん、NPO・行政・市民からの参加者との交流会では、名刺交換が活発に行われ、企業からの参加者のあいさつもあり、吉田さんからの呼びかけ「今日の参加者みんなと友達になって下さい」が実践されていました。



◆Canva で団体紹介チラシを作る

10日（日）に開講された、Canva チラシ作り講座では、20・30代による地域活性化団体「のろし」間野圭子さんを講師に迎え、チラシ作成に取り組みました。

Canva は無料で利用できるオンラインのデザインツールです。また豊富なテンプレートが用意されているという特色もあります。

日頃市民活動に取り組んでいる受講者の皆さんは、選んだテンプレートに活動内容を記入し写真を貼っていきましました。

講座終了後、完成した原稿データを書き出し、早速印刷しチラシを使用している受講者もいました。

◆各所でイベント

このほか会期中には会場外においても市民公益活動登録団体の催しがありました。行田観光ボランティア会は14日（木・埼玉県民の日）、さきたま古墳を巡るガイドツアーを行いました。また、NPO 法人魅力創造倶楽部が主催する「Winter light up in 水城公園 2024」の点灯セレモニーが9日（土）に行われました。ライトアップイベントは来年2月14日（金）まで開催される予定です。



市民活動やる気応援助成金第2期 「みちしるべ」が採択決定！

10月8日(火)、令和6年度第3回行田市市民公益活動推進委員会が開かれ、行田市市民活動やる気応援助成金第2期の審査が行われました。今期の審査で市民公益活動登録団体からは、NPO法人みちしるべが提案した「スタート広報活動事業」が採択されました。

「スタート広報活動事業」は、NPO 法人が活動開始期の基盤整備事業に取り組む「スタート応援事業」として提案され、設立間もない法人の広報、成年後見制度の周知、法人後見人としての個人情報管理のために、チラシ製作費用やパソコン購入費用が事業予算に盛り込まれています。

成年後見制度は、家族をはじめ弁護士など法律・福祉の専門家が、認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が十分でない方に代わって、本人の権利や利益を守り契約の締結や財産の管理を行うものです。みちしるべでは、制度につながりにくい人たちにアプローチし法人後見人として寄り添い支援して行きたいと話しています。



市民活動パネル展 市内で開催

行田市市民公益活動登録団体の活動を
紹介する市民活動パネル展が、10月5
日(土)、足袋蔵「行田窯」で開かれました。
この日、行田市内では日本遺産イベント
「花手水&足袋蔵めぐりスタンプラリー」
が開催され、コラボイベントとして市
民活動パネル展が企画されました。会場
の行田窯ではスタンプを押した人たちが
掲示物を見ている姿が見られました。

また、11月26日(火)から12月5日(木)まで、教育文化センターみらい談話コーナーを会場にパネル展が開かれました。中央公民館や図書館を訪れた方が立ち寄り、団体の活動の様子を紹介するパネルに見入っていました。

行田の市民活動を皆様に広く知って頂くため、これからも各所でパネル展を開いていく方針です。



熊谷市・市民活動の祭典「ニャオざねまつり」賑わう

行田市市民公益活動推進チーム出展・行田豆吉も登場



10月26日(土)、熊谷市・コミュニティ広場で市民活動の祭典「ニャオざねまつり」が開催され、行田市からも市民公益活動推進チームが出展しました。

「ニャオざねまつり」は、熊谷市市民活動支援センターに登録している市民活動団体が、ブースを出展し活動を紹介するほか、音楽に取り組んでいる団体などがステージで発表します。他にもキッチンカーの出店があり大変賑わいました。

今年は、行田市から市民公益活動推進委員会の有志メンバーがチームを結成してブースを出展し、行田市の市民公益活動の紹介が行われました。行田観光ボランティア会による「日本遺産クイズコーナー」、みんなの食堂にじろさくらによる「キッズ輪投げコーナー」、行田環境市民フォーラムによる「手回し発電機体験会」、行田マジック愛好会による「トランプマジックショー」、行田ゼリーフライ研究会による「ゼリーフライ販売」があり、好評を博しました。

会場のステージでは、熊谷市マスコットキャラクター「ニャオざね」と行田在来青大豆キャラクター「行田豆吉」の共演が実現し盛り上がりしました。

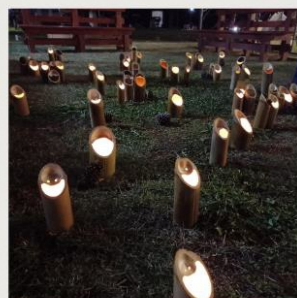
このほか、行田市から参加した団体は、活動領域が近い熊谷市の団体を訪問し、交流の場を持つことができ大変有意義な時間を過ごしました。

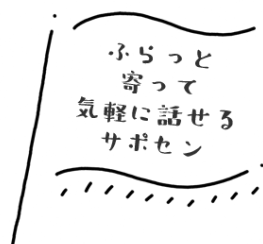


＼市民活動ウィーク写真集！／



市民活動ウィーク2024 Photo's





行田市市民活動サポートセンター サポセンぎょうだ

サポセン通信発行70号記念



- アクセス案内 - ACCESS

←至□熊谷 [県道128号熊谷羽生線] →至□加須・栗橋

